

CLOSE UP!



小児歯科

きれいな乳歯は、強い永久歯や正しい歯ならび・かみ合わせへの第一歩です。

子どもの健康を左右する歯の管理が注目される中、新生児期から成人するまでの健康児、障がい児および有病児を対象に、むし歯やかみ合わせの異常を予防・治療している小児歯科の紹介をします。

● 病気を治すための重要な口腔ケア

小児歯科の仕事は、子どものむし歯を治療するだけではありません。健全な永久歯咬合(こうごう)をつくることを目的としています。また、入院中の有病児や発達障害を持つ子どもの治療にも力を入れて取り組んでいます。子どものむし歯予防は、歯の生える前からでも始められます。小さいうちから管理することによって、むし歯のできにくい状態を保ち続けることができます。

● 健康な歯を作るために

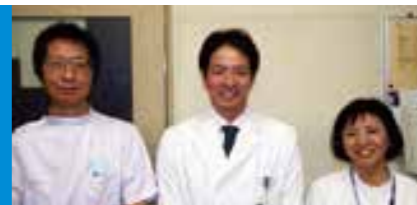
大切なのは、病状が悪化してから治療するのではなく、日頃からお口の管理を怠らないことです。特にむし歯は、生活習慣を改善することで発生を未然に防ぐことができます。保護者が口腔の疾患に対して正しい知識を持ち、お子さんに小さい頃から正しい歯磨きの習慣を身につけさせる

また、白血病などの重病の子どもについては、治療を行う前に口腔ケアを行うことが病気の治療後の回復に大きく影響してきます。そこで医科と歯科が連携して、患児の口腔ケアを行うことが大事になってきます。全身疾患のため、外出が難しい子どもたちに対しては、小児科からの要請に応え病棟へ往診に出向きます。

こと、正しい食生活を実践すること、それがのちのちまで健康な歯を維持していく秘訣です。

今後は、院内での妊婦教室も検討しています。お母さんに、これから生まれてくる子どもの口腔ケアに関する正しい知識を持っていただきたいからです。

- 主な診療内容
- 1 う蝕の予防・治療
(しよく)
 - 2 歯列・咬合育成
(こうごう)
 - 3 小児の歯・口・顎骨の外傷処置
(がくこつ)
 - 4 埋伏過剰歯・歯牙腫・含歯性嚢胞・粘液嚢胞などの摘出、
(まいふくがじょうし) (しがしゆ) (がんしせいとうぼう) (ねんえきのうぼう)
上唇小帯・舌小帯の伸展術などの外科的治療
(じょうしんしようたい) (せつしようたい)
 - 5 成長発達期の摂食嚥下機能訓練
(せつしよえんげ)
 - 6 小児の顎関節症の治療
(がくかんせつしよ)



■説明は、

徳島大学病院

岩本 勉(いわもと つとむ) 科長(真ん中)

郡 由紀子(こおり ゆきこ) 副科長(右)

長谷川 智一(はせがわ ともかず) 外来医長(左)

●小児歯科外来 Tel.088-633-7374

● 受診される皆さんへ

乳歯は生え替わるので、永久歯には影響を与えないと考える方がいますが、それは大きな間違いです。乳歯のむし歯を放置すると永久歯の色や形に異常が生じたり、歯ならびが悪くなったりします。これを予防するためには、乳歯のむし歯治療だけでなく、お口の中をむし歯のできにくい環境に変える必要があります。新しいむし歯を作らないことこそが大切なのです。

少なくとも一日一回、子どもの口の中を覗いてあげてください。ちょっとした変化に気づくことができるだけでなく、小さい頃

から口の中をチェックすることに慣れさせておくことで、もし治療が必要になった場合、歯科医師に歯を見せることを嫌がらないで効率良く口腔のケアを受けることができます。

「歯医者さんは怖くない!歯を守ってくれるところ!」。子どもたちにそう思ってもらうのが私たちの望みです。楽しく治療を受けられるよう診療にも工夫をこらしていきたいと思っています。